

『令和5年度刀根山支援学校運営協議会 第1回会議 議事録』

日 時：令和5年6月20日（火）15:00～16:00

場 所：本校（多目的ホール）

出席者：＜協議委員＞

井村 修、齊藤 利雄、平賀 健太郎、川見 ゆか

＜事務局員＞

高河原 健、高原 浩徳、笠岡 一行、洲本 昌悟、三澤 誠一、桑名 智寛、

船木 雄太郎、小山 輝雄、池上 真由、阿部 壮太

欠席者：＜協議委員＞

山田 亨、宗戸 和幸

1. 学校長挨拶（高河原校長）

2. 大阪府立刀根山支援学校 学校運営協議会実施要項の確認

高原教頭より資料に沿って説明

3. 委員紹介

井村会長より

- ・名簿順で自己紹介
- ・協議委員は6名で構成。2年任期ではあるが、今年度PTA会長の交代により、保護者代表の協議委員は、宗戸氏に交代している。

4. 出席者・事務局紹介

校長より

- ・名簿順で自己紹介

5. 令和5年度会長・副会長の選出について

会 長 井村 修

副会長 山田 亨（昨年度からの任期を引き継いで選出）

6. 審議事項

（1）令和5年度 学校経営計画について

校長より資料に沿って説明

- ・めざす学校像を踏まえ、中期的目標を3つ掲げ、それぞれに対応する今年度の重点目標及び具体的な取組み、評価指標を設定している。
- ・中期的目標について、必要な箇所のみ抜粋して口頭で補足的に説明。

1の(2)、1の(4)、2の(1)、2の(4)、3の(1)、3の(5)

質問応答

齊藤 利雄：

ICT の活用（チャット GTP）について

高河原 健：

使用における注意点や配慮、懸念などもぬぐえない状況のため、生徒の活用、レポート等、特に本校では積極的な活用は現時点では行っていない。

平賀 健太郎：

「2 専門性の向上と支援の継承」に関して、病弱教育の制度が変わってきている中で、オンライン授業の形態も大きく変化してきている。大阪の病弱教育に関しては充実しているが、高等部は小・中学校よりも充実していないように感じている。高校生への支援に向けて、刀根山支援学校としてはどのようにお考えかを聞かせてほしい。

高河原 健：

府立高等学校に在籍する生徒への支援については、本校としては行っていない。府立高等学校に在籍する支援を必要とする生徒への指導・支援については、所属する府立高等学校教職員により、本校で行っている訪問教育と同じような形で指導・支援が行われている。オンラインでの指導・支援も進んでいる。現時点では、府立高等学校在籍の生徒を対象とした指導・支援について、本校訪問教育部に高等部を設置しての訪問教育の実施は難しいと考えている。

井村 修：

以前の経営計画の中には教材の共有などについての項目があったと思うが、今年度は削除されているのか、それとも達成されたのか。

高河原 健：

この項目が時間外の軽減となるのかという指摘を受け、今年度は項目として挙げていない。挙げてはいないが、今年度も継続して行っている。

7. 報告・連絡

（1）各部署の報告について

部長・室長より資料に沿って説明

本校教育部→訪問教育部→精神分教室→阪大分教室→滝井分教室→枚方分教室

（2）教科書選定について（高原教頭）

来年度の小学部の教科書につきましては、今年度採択替えとなっておりますので、この資料の教科書は今年度までとなります。また、本校は枚方市採択の教科書を採択することとしています。

（3）今年度の予定

第2回 令和5年11月7日（火）15:00～ ※日程の再調整を行う

第3回 令和6年2月13日（火）15:00～

8. その他